

## 鴨川市教育委員会 7 月定例会会議録

1 日 時 平成 28 年 7 月 20 日 (水) 開会 午後 2 時 00 分  
閉会 午後 3 時 15 分

2 場 所 天津小湊支所 2 階会議室

3 出席委員 (1) 村上修平 (2) 石井千枝 (3) 吉原里夏  
(4) 根本新太郎 (5) 野田 純

4 出席職員 (1) 瀧口正勝 (2) 黒野雅典 (3) 鈴木克己  
(4) 山口政美 (5) 羽田幸弘 (6) 関口和則

### 5 委員報告

- ・吉原委員から、水田杯少年野球の開会式出席の報告がなされた。AKマリーンズが活躍し準優勝であった。また、全体に子どもの数が減ったような印象をもった、との感想が報告された。
- ・石井委員から、薬物乱用防止キャンペーン、小湊小学校計画訪問、OURS 訪問の出席報告がなされた。小湊小学校では、小規模校の良さを感じるとともに、どこかでもまれる経験の必要性を感じた。また、OURS 訪問では、住宅地での施設であるため、地域と共存した今後に期待したい、との感想が報告された。
- ・根本委員から、小湊小学校計画訪問への出席報告がなされた。人数が少ない印象、品の良さを感じた。中学校進学では、学区外の鴨川中学校への進学状況から、本市で取り組んでいる小中一貫教育のあり方に疑問を感じる。小中一貫教育のねらいについて、再考すべきではないか、との意見が報告された。
- ・村上委員長から、6 月市議会、小湊小学校計画訪問、教科用図書安房採択地区協議会、OURS 訪問への出席報告がなされた。小湊小学校は、地域の声から現状のままとなったが、小集団における人間関係の育成、発達について考えていきたい。また、OURS では、公立の幼稚園にない発想や運営に今後期待したい、との感想が報告された。

### 6 教育長報告

- ・野田教育長から、「戸部洋平」後援会総会、天津小湊地区一斉清掃、子ども・子育て会議、小学生通学合宿、青少年のつどい鴨川市大会、区長等市民懇談会、オ

ルカ鴨川F C公式試合、教科用図書安房採択地区協議会、水田杯少年野球大会、田原ふるさと祭り、への出席報告がなされた。天津小湊地区一斉清掃では、地域での団結した取り組みのこと、子ども・子育て会議では、東条保育園、幼稚園の今後の方向性のこと、オルカ鴨川F Cは、イースト地区優勝の報告、水田杯少年野球大会では、AKマリーンズが準優勝の報告、他市内4地区で開催された区長等市民懇談会が、昨年以上の参加者のもと開催されたこと、について感想ほか、報告がされた。

## 7 議 事

### (1) 議案第1号「平成29年度使用教科用図書の採択について」

- ・瀧口学校教育課長から、「平成29年度使用教科用図書の採択について」資料をもとに説明がなされた。
- ・野田教育長から、今回は、読み物資料など教材として捉えて選定を行っている。また、障害者への配慮事項として、刺激のある色合いについて留意した、との補足説明がなされた。
- ・根本委員から、資料中の無印の項目について質問がなれ、村上委員長から、今回の選定候補として取り上げたが、審議の結果、選定されなかった図書である旨、説明がなされた。

他に質疑なく、全員の了承が得られた。

## 8 その他

### (1) 平成27年度教育委員会の点検と評価（外部評価）について

- ・瀧口学校教育課長から、別添資料をもとに説明がなされた。
- ・石井委員から、外部評価中の「幼保一元化の園では幼小連携が取りにくい面がある。職員が変わっても継続した連携が行える連携体制の必要性」について、質問がなされた。
- ・瀧口学校教育課長から、本意見については、「保育園・幼稚園と小学校の施設が離れていることから、日常的な交流がしづらい」との理由である旨、説明がなされた。また、羽田子ども支援課長から、園長と小学校長が兼任しているのと、単独で園長となっているところについての、状況の違いについて補足説明がなされた。

- ・野田教育長から、本課題は3～4年前から認識している。幼稚園と小学校が隣接しているところは、日常的に活動の様子を見ることができ、交流もしやすい。反面、離れているところは、保育園との関係性が強くなっている。今後の検討課題として捉えている、との説明がなされた。
- ・石井委員から、外部評価の表現方法の違いについて指摘があり、瀧口学校教育課長から、外部評価の意見については参考であり、議会提出資料には明記しない旨、補足説明がなされた。
- ・黒野生涯学習課長から、生涯学習の充実の外部評価は、社会教育委員会からのご意見である旨、説明がなされた。
- ・鈴木スポーツ振興課長から、市民スポーツの振興についての外部評価は、スポーツ推進審議会委員からのご意見である旨、説明がなされた。
- ・山口学校給食センター所長から、学校給食の充実についての外部評価は、学校給食センター運営委員会からのご意見である旨、説明がなされた。

## (2) 平成19年度以降の全国学力・学習状況調査の推移と考察について

- ・瀧口学校教育課長から、別添資料をもとに説明がなされた。
- ・石井委員から、数学Bの調査について、知識を活用する問題であるが、平成27年度の平均点が40点台というのは内容面でやや疑問を感じる。また、小規模校のきめ細かな丁寧な指導の良さもあるが、数学では、速く・厳しく、指導される経験も将来のためには必要ではないかと感じる、との意見がなされた。
- ・野田教育長から、算数・数学は数多く問題をこなす経験をさせることが必要ではないかと思われる、との意見がなされた。
- ・瀧口学校教育課長から、本資料については、市政策研究会の学力向上推進委員会で検討し、小中一貫教育の検証とともに、各学校での意識改革を図っていきたい、との説明がなされた。
- ・関口主任指導主事から、国語の好成績については、千葉県国語教育研究会安房大会に向け、言語活動を中心とした活動を3年間継続して取り組んだ成果が一つの要因と考えられる。また、数学・算数については、教師自身にもう少し問題をやっていただき、分析をしてもらおうと考えている。さらに、県が推奨するテキストの活用も含め、方策について今年度検討することとなっている旨、説明がなされた。

- ・根本委員から、数学で特に点数の良い県はどこであるのか、との質問がなされ、関口主任指導主事から、秋田県ほか、石川県・福井県・青森県である、との説明がなされた。
- ・吉原委員から、鴨川小学校では「算数オリンピック」といった取り組みを、希望制から全員参加にするなどの工夫をして意欲付けを図っている、との紹介がされた。

(3) 8月の教育委員会行事予定について

各所属長から、「8月の教育委員会行事予定」について、資料をもとに説明がなされた。

(4) その他

瀧口学校教育課長から、「長狭教育の会」について説明がなされた。

村上教育委員長は、一切の審議の終了を告げ、閉会を宣言した。

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

平成28年8月23日

鴨川市教育委員会 委員長

委員長職務代理者

会議録作成者 瀧口 正勝